

コラボレーション エンドポイント ソフトウェア CE8.0
2015 年 11 月



スタートアップ ガイド

MX および SX シリーズ用

シスコ製品をお選びいただきありがとうございます。

お使いのシスコ製品は、長年にわたり安全かつ信頼できる操作を行えるよう設計されています。

製品マニュアルのこの部分は、コラボレーション エンドポイント ソフトウェアを実行する Cisco TelePresence 製品の設定管理者を対象としています。

主な目的は、ユーザの目標とニーズに対応することです。このガイドについてのご意見、ご感想をお聞かせください。

次のシスコ Web サイトに定期的にアクセスして、ガイドの最新バージョンを確認してください。

ユーザ ドキュメンテーションは次の URL から入手できます。

▶ <http://www.cisco.com/go/telepresence/docs> [英語]

本ガイドの使用法

本書上部のメニュー バーと目次の各項目には、ハイパーリンクが設定されています。ハイパーリンクをクリックすると、そのトピックに移動します。

目次

はじめに	3
このマニュアルについて	4
システムの設定方法	5
ユーザ インターフェイス	6
Web インターフェイス	7
TRC6 リモコン	8
リモート コントロール使用時の画面メニュー	9
タッチ コントローラ	10
タッチ コントローラの [設定 (Settings)]メニュー	11
設定 : Web インターフェイス	12
Web インターフェイス	13
プロビジョニングの設定	14
IP の設定	15
H.323 および SIP の設定	16
日時と場所	17
パスフレーズ	18
設定 : 画面上のセットアップ アシスタント	19
リモート コントロール 使用時の画面上の セットアップ アシスタント	20
IP の設定	21
プロビジョニング	22
設定 : タッチ コントローラ	24
タッチ コントローラ	25
プロビジョニングの設定	26
IP の設定	27
H.323 および SIP の設定	28
日時と場所	29
付録	30
Cisco VCS プロビジョニング	31
シスコ Web サイト内のユーザ ドキュメンテーション	32

第 1 章 はじめに

このマニュアルについて

本書では、ビデオ会議システムの基本設定について説明します。

お使いの製品のインストール ガイドに、システム アセンブリとインストールに関する情報が記載されています。

本書で取り上げる Cisco TelePresence エンドポイント

- MX シリーズ：
 - MX200 G2
 - MX300 G2
 - MX700
 - MX800
- SX シリーズ：
 - SX10 Quick Set
 - SX20 Quick Set
 - SX80 コーデック

ユーザ ドキュメンテーション

ユーザ ドキュメンテーションは、次のシスコ Web サイトからダウンロードできます。

▶ <http://www.cisco.com/go/telepresence/docs> [英語]

シスコ Web サイトにあるドキュメンテーションの検索方法については、付録の ▶ 「シスコ Web サイト内のユーザ ドキュメンテーション」を参照してください。

[ソフトウェア (Software)]

お使いの製品のソフトウェアは、次のシスコ Web サイトからダウンロードできます。

▶ <http://www.cisco.com/cisco/software/navigator.html> [英語]

シスコの連絡先

シスコの Web サイトでは、シスコの世界各地のお問い合わせ先を確認できます。

▶ <http://www.cisco.com/web/siteassets/contacts> [英語]

システムの設定方法

プロビジョニング システムを使用するか、または各ビデオ システムを個別に設定する

プロビジョニングすることで、ビデオ会議のネットワーク管理者は複数のビデオ システムを同時に管理することができます。通常、各ビデオ システムにプロビジョニング サーバの資格情報を入力するだけで、残りの設定が自動的に行われます。

プロビジョニング システムがない場合は、各ビデオ システムを個別に設定する必要があります。発信を可能にするためには、IP（ネットワークから提供されていない場合）および SIP/H.323 のパラメータを設定する必要があります。また、正しい日時を設定する必要があります。

本書では、プロビジョニング システムの有無に関係なく、基本設定について説明しています。

ユーザ インターフェイス

Cisco TelePresence ビデオ会議システムの主な操作デバイスは、リモート コントロールまたはタッチ コントローラです。リモート コントロールは、MX シリーズや SX80 では使用できません。

システムがすでにネットワークに接続されていて、IP アドレスがわかっている場合は、Web インターフェイスを使用してシステムを設定できます。タッチ コントローラと画面メニューには、限定された一連の設定も使用できます。

次の章では、Web インターフェイス、画面上のセットアップアシスタント、およびタッチ コントローラの機能について説明します。

パスフレーズ (Passphrase)

最初は、デフォルトの *admin* ユーザのパスフレーズは設定されていません。システム設定へのアクセスを制限するために、管理者権限を持つユーザのパスフレーズを設定する必要があります。対象にはデフォルトの *admin* ユーザが含まれます。

パスフレーズの設定方法の詳細については、「[パスフレーズ](#)」、[18 ページ](#)のセクションを参照してください。

第 2 章

ユーザ インターフェイス

Web インターフェイス

Web インターフェイスにアクセスするには、Web ブラウザのアドレス バーにシステムの IP アドレスを入力して、サインインします。ビデオ会議システムで提供されるデフォルトのユーザ アカウントは、ユーザ名が *admin* で、パスワードは設定されていません。

推奨ブラウザ：Internet Explorer、Mozilla Firefox、Opera、Chrome、Safari の最新リリース。

Web インターフェイスの編成方法やアクセス可能な設定の詳細については、お使いの製品の管理者ガイドを参照してください。

[システム設定 (System Configuration)] ページ

[システム設定 (System Configuration)] ページは、サインインすると [設定 (Configuration)] メニューから開くことができます。

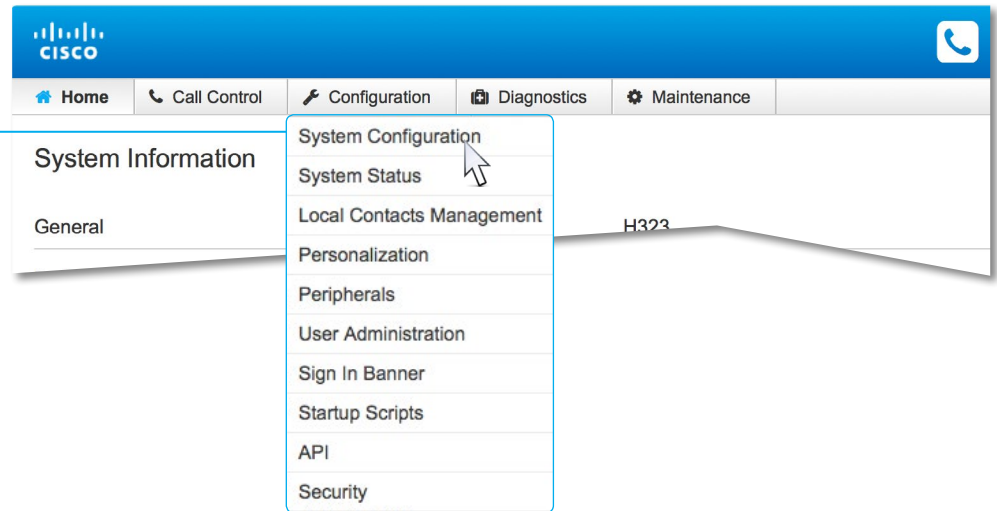
このページからすべての構成設定にアクセスできます。次の章で説明されている設定項目については、このページで確認できます。

システムの設定を制御する場合は、[システム ステータス (System Status)] セクションを確認します。[システム ステータス (System Status)] セクションは [設定 (Configuration)] メニューの下にあります。

▶ 13 ページの Web インターフェイスのシステムの設定方法を参照してください。

[設定 (Configuration)] サブメニュー

[システム設定 (System Configuration)] ページは、[設定 (Configuration)] メニューから開くことができます。



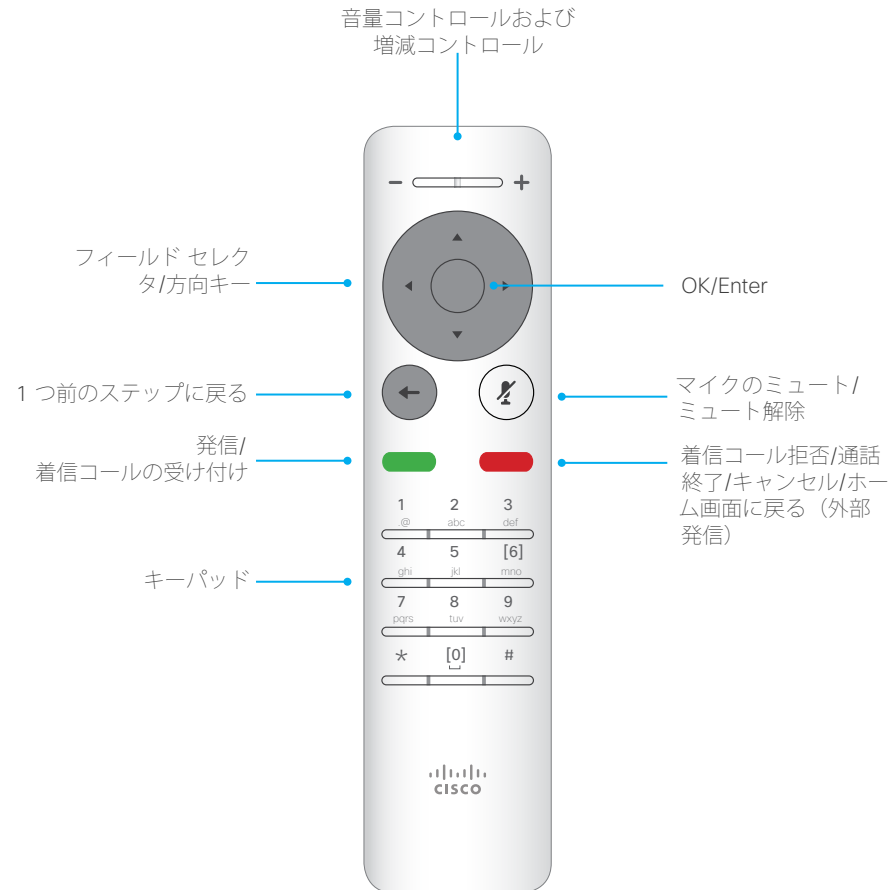
TRC6 リモコン

リモート コントロールを手にとると、システムが起動します。

画面の中を移動するには、**方向**キーを使用します。選択したメニュー フィールドを開くには、**OK/Enter** を押します。

変更を実行せずにメニューを終了するには、**キャンセル** キーを使用します ([ホーム (Home)] 画面に戻ります)。**戻る** キーを使用して 1 つ前のステップに戻ります。

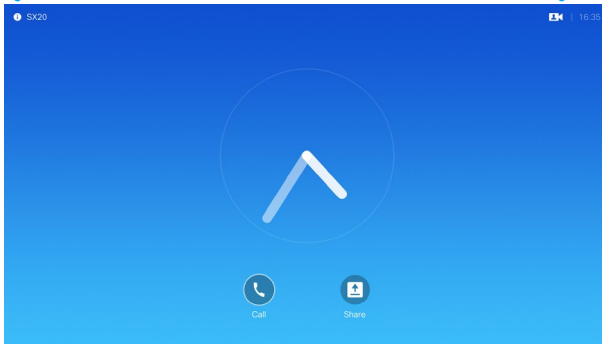
リモート コントロールに使用可能なバッテリー (2 個の AAA バッテリー) があることを確認します。



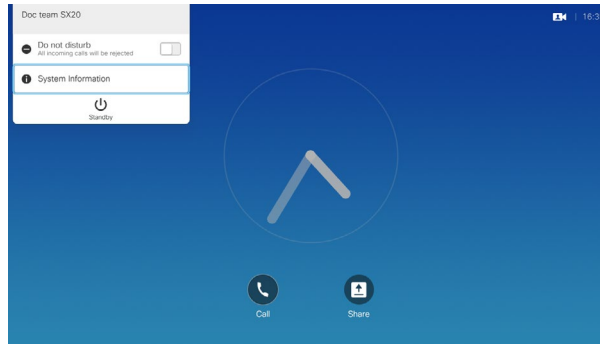
リモート コントロール使用時の画面メニュー

- ・サイレント
- ・システム情報 (System Information)
- ・Standby

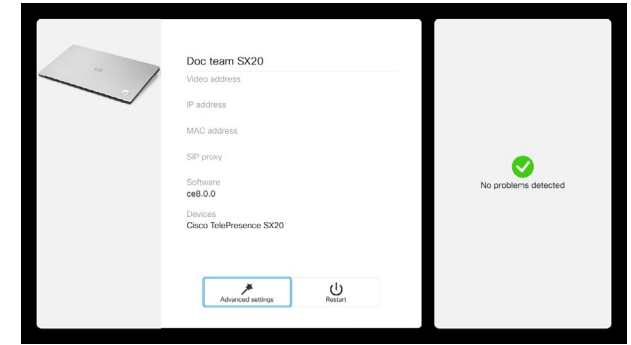
カメラ制御



発信
コンテンツ
の共有



[詳細設定 (Advanced Settings)] メニューにアクセスするには、画面の左上隅にカーソルを移動し、リモート コントロールの OK を押します。次に下にある [システム情報 (System Information)] に移動し、再度 OK を押します。



[システム情報 (System Information)] メニューには、システムの基本情報が表示されます。[詳細設定 (Advanced Settings)] にアクセスしたり、システムを再起動したりすることもできます。これらの設定は、Web インターフェイスで設定した PIN で保護できます。

[詳細設定 (Advanced Settings)] では、以下の内容を設定できます。

- ・ [言語 (Language)] : ユーザ インターフェイスの言語を選択します。
- ・ [ネットワーク接続 (Network Connection)] : IPv4 の設定が自動プロビジョニングまたはネットワークによって設定されていない場合は設定を変更します。
- ・ [システム アクティベーション (System Activation)] : プロビジョニング設定が自動プロビジョニングによって設定されていない場合は設定を変更します。
- ・ [サウンド テスト (Sound Test)] : 音声品質をテストします。
- ・ [マイク チェック (Microphone Check)] : マイクが動作していることを確認します。外部マイクを使用している場合は、このテストを使用してマイクの場所を調整します。
- ・ [システム ボリューム (System volume)] : 着信音とコールのデフォルトの音量を設定します。テスト音が聞こえない場合は、モニタのボリュームのスイッチが入っていること、およびケーブル配線が正しいことを確認します。
- ・ [デフォルトのカメラ プリセット (Default camera preset)] : 今後のコールのために、カメラのデフォルト位置を設定します。
- ・ [プレゼンテーション (Presentation)] : 使用しているコンピュータからプレゼンテーションをテストします。テストするには、追加の HDMI または VGA ケーブルが必要です。

システムの初回起動時には、セットアップ アシスタントが自動的に起動します。

▶ 20 ページの画面上のセットアップ アシスタントによるシステムの設定方法を参照してください。

タッチ コントローラ

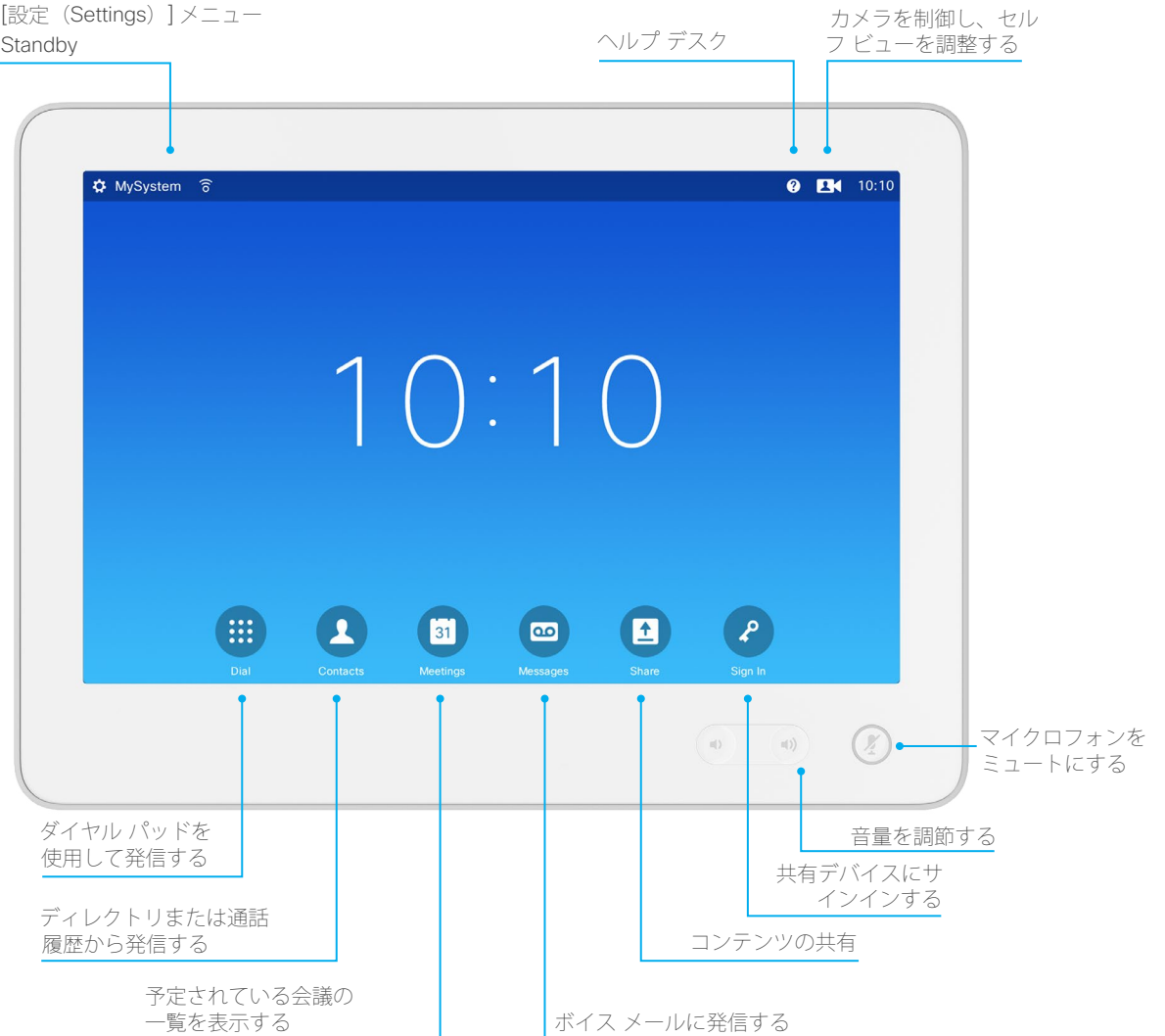
システムの初回起動時には、セットアップ アシスタントが自動的に起動します。

タッチ コントローラとその使用方法の詳細については、お使いのビデオ会議システムのユーザー ガイドを参照してください。

すべての設定が全製品で利用できるわけではないため、以下に示されているタッチ ボタンの中には、お使いのシステムには表示されないものもあります。

ここでは次の内容を確認できます。

- ・ プロキシミティ
- ・ サイレント
- ・ [設定 (Settings)] メニュー
- ・ Standby



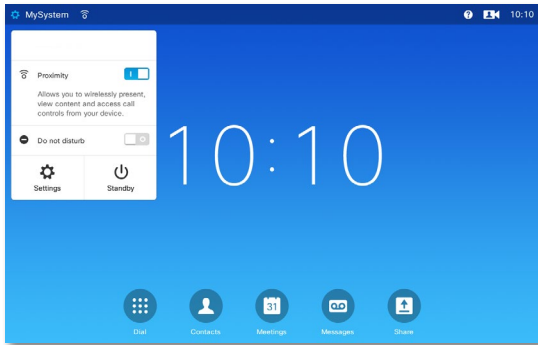
タッチ コントローラの [設定 (Settings)] メニュー

[設定 (Settings)] メニューを開くには、左上隅にあるシステム名またはユーザ名をタップして [設定 (Settings)] をタップします。

システム設定

[管理者設定 (Administrator Settings)] メニューに入るには、[管理者 (Administrator)] をタップし、[ユーザ名 (Username)] と [パスフレーズ (Passphrase)] を入力してログインします。入力フィールドをタップするとソフトキーボードが表示されます。[管理者設定 (Admin Settings)] をタップします。[管理者設定 (Administrator Settings)] メニューは、システムのパスフレーズで保護されています。

▶ 25 ページのタッチ コントローラによるシステムの設定方法を参照してください。



すべての設定が全製品で使用できるわけではないため、右側に表示されるメニュー項目の中には、お使いのシステムには表示されないものもあります。

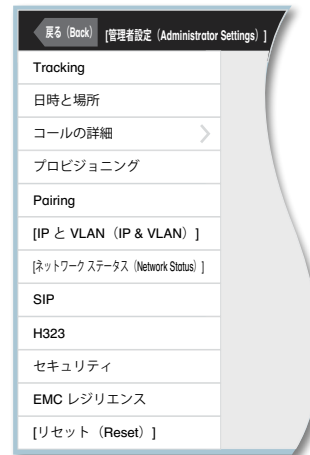
必要に応じて、設定へのユーザ アクセスに対する制限を設定できます。制限は、Web インターフェイスで設定できます。[設定 (Configuration)] > [システム設定 (System Configuration)] > [ユーザインターフェイス (User Interface)] に移動し、[ユーザ設定 (User Preferences)] を [オフ (Off)] に設定します。この制限によって、ユーザには [システム情報 (System Information)]、[コールの状態 (Call Status)]、[診断 (Diagnostics)]、[再起動 (Restart)] のみ表示されます。

タッチ コントローラのメニューの詳細な説明については、お使いのビデオ会議システムのユーザ ガイドを参照してください。



[設定 (Settings)] メニュー

- [着信音とサウンド (Ringtone & Sound)] : 着信音、着信音のボリュームとキー トーンを選択します。
- [カメラ制御 (Camera Control)] : ホワイトバランス、露出、逆光補正を設定します。
- [メインソースの選択 (Main Source Selection)] : メインの入力ソース (カメラ制御など) を選択します。
- [ディスプレイ (Display)] : メインのビデオ ディスプレイの明るさ、ホワイトバランス、DVI モードを選択します。
- [言語 (Language)] : ユーザ インターフェイスの言語を選択します。
- [システム情報 (System Information)] : システム設定の概要。
- [コールの状態 (Call Status)] : 発信時のコールパラメータの概要 (プロトコル、送受信速度、パケット損失など)。
- [診断 (Diagnostics)] : 追加のシステム ログングを設定します。
- [再起動 (Restart)] : システムを再起動します。
- [管理者 (Administrator)] 以下を参照してください。



[管理者設定 (Administrator Settings)] メニュー

- [トラッキング (Tracking)] : SpeakerTrack 60 カメラがある場合に、トラッキング速度を選択し、ホワイトボードへのスナップ機能を設定します。
- [日時と場所 (Date, Time & Location)] : 日時の設定を設定します。
- [コールの詳細 (Call Details)] : デフォルトのコール レートや自動応答の設定を設定します。
- [プロビジョニング (Provisioning)] : プロビジョニング ウィザードを開始します。
- [ペアリング (Pairing)] : タッチ コントローラがペアリングされているエンドポイントに関する情報を確認し、そのエンドポイントからペアリングを解除します。
- [IP と VLAN (IP & VLAN)] : IP と VLAN の設定を設定します。タッチ コントローラが LAN 経由で接続されている場合、コーデックとタッチ コントローラの個別のエントリがあります。
- [ネットワーク ステータス：コーデック (Network Status - Codec)] : コーデックの現在のネットワーク ステータス。
- [ネットワーク ステータス：タッチ (Network Status - Touch)] : タッチ コントローラの現在のネットワーク ステータス。
- [SIP] : SIP の設定を設定します。
- [H323] : H.323 の設定を設定します。
- [セキュリティ (Security)] : システムにインストールされている証明書を確認します。
- [EMC レジリエンス (EMC Resilience)] : 電磁雑音に対するタッチ コントローラのレジリエンスを変更します。
- [リセット (Reset)] : 工場出荷時設定にリセットします。すべての設定がリセットされます。工場出荷時設定のリセットは取り消すことができません。

第 3 章 設定： Web インターフェイス

Web インターフェイス

システムの IP アドレスがわかるまでは、タッチ コントローラ またはリモート コントロールを使用して設定する必要があります。

この章で説明されている設定は、[管理者 (Administrator)] 設定の [タッチ コントローラ (Touch controller)] でも確認できます。このページにアクセスするには、管理者のパスワードを入力する必要があります。

IP アドレスの確認

タッチ コントローラを持っている場合は、左上隅にある歯車をタップして、[\[設定 \(Settings\) \]](#) タップします。[\[システム情報 \(System Information\) \]](#) セクションで、IPv4 アドレスまたは IPv6 アドレスを確認できます。

TRC6 リモート コントロールを持っている場合は、ホーム画面の左上隅に移動し、さらに [\[システム情報 \(System Information\) \]](#) に移動します。

Web インターフェイスへのサインイン

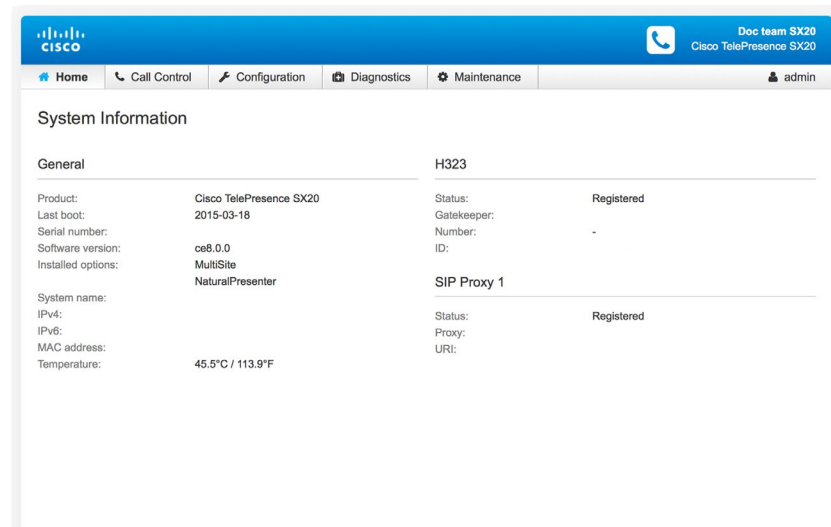
1. Web ブラウザを開き、アドレス バーにシステムの IP アドレスを入力します。
2. ユーザ名とパスワードを入力し、[\[サインイン \(Sign in\) \]](#) をクリックします。

デフォルトのユーザ名は `admin` で、パスワードは設定されていません。

システムに接続できない場合

- ・システムとコンピュータが同じネットワークに接続されていることを確認します。
- ・システムのスイッチがオンになっていることを確認します。

システムのスイッチをオンにしたばかりの場合は、システムが起動するまで数分待ちます。



The screenshot shows the Cisco TelePresence SX20 web interface. The top navigation bar includes Home, Call Control, Configuration, Diagnostics, and Maintenance. The main content area displays 'System Information' with the following details:

General		H323	
Product:	Cisco TelePresence SX20	Status:	Registered
Last boot:	2015-03-18	Gatekeeper:	-
Serial number:	-	Number:	-
Software version:	ce8.0.0	ID:	-
Installed options:	MultiSite NaturalPresenter	SIP Proxy 1	
System name:	-	Status:	Registered
IPv4:	-	Proxy:	-
IPv6:	-	URI:	-
MAC address:	-		
Temperature:	45.5°C / 113.9°F		

プロビジョニングの設定

(プロビジョニング システムを使用する場合)

後述のパラメータについて不明な点がある場合は、プロビジョニング システムのプロバイダーにお問い合わせください。

個々のプロビジョニングの設定の詳細については、お使いの製品の管理者ガイドを参照してください。

プロビジョニング インフラストラクチャの選択

1. **[設定 (Configuration)]** タブに移動し、**[システム設定 (System Configuration)]** をクリックします。
2. 左の列から **[プロビジョニング (Provisioning)]** の設定を開きます。
3. **[モード (Mode)]** ドロップダウンリストからプロビジョニング インフラストラクチャを選択します。
 - ・ [TMS]: Cisco TelePresence Management System (SX10 では選択できません)
 - ・ [VCS]: Cisco Video Communication Server
 - ・ [CUCM]: Cisco Unified Communications Manager
 - ・ [自動 (Auto)]: システムは、VCS、TMS、CUCM の順に試してプロビジョニングを開始します。
 - ・ [エッジ (Edge)]: Expressway 経由の CUCM

[オフ (Off)] を選択する場合は、すべての設定を手動で設定する必要があります。

値の設定を変更する場合は、

必ず **[保存 (save)]** をクリックして、変更を確定する必要があります。

必須プロビジョニング パラメータの設定

設定するパラメータは、選択したインフラストラクチャによって異なります。

TMS

1. Cisco TMS でビデオ システムを認証するために必要な場合があります。必要な場合は、それぞれの入力フィールドに **[ログイン名 (Login Name)]** と **[パスワード (Password)]** を入力します。
2. **[外部マネージャ (External Manager)]** 見出しの下にある **[アドレス (Address)]** 入力フィールドに、Cisco TMS サーバの IP アドレスまたは DNS 名を入力します。*
3. 対応する入力フィールドに、プロビジョニング サービスへの **[パス (Path)]** を入力します。

VCS

1. Cisco VCS でビデオ システムを認証するために必要な場合があります。必要な場合は、それぞれの入力フィールドに **[ログイン名 (Login Name)]** と **[パスワード (Password)]** を入力します。
2. **[外部マネージャ (External Manager)]** 見出しの下にある **[アドレス (Address)]** 入力フィールドに、Cisco VCS の IP アドレスまたは DNS 名を入力します。*
3. 対応する入力フィールドに、Cisco VCS の SIP **[ドメイン (Domain)]** を入力します。

VCS のプロビジョニングの詳細については、付録の **[Cisco VCS プロビジョニング]** を参照してください。

Unified Communications Manager

[外部マネージャ (External Manager)] 見出しの下にある **[アドレス (Address)]** 入力フィールドに、CUCM プロビジョニング サーバの IP アドレスまたは DNS 名を入力します。*

CUCM のプロビジョニングの設定の詳細については、『**Administering CE endpoints on CUCM**』ガイドを参照してください。

Expressway 経由の CUCM

Expressway サービス経由で CUCM を注文すると、ユーザ名、パスワード、およびドメイン名を受信します。

1. **[ログイン名 (Login Name)]** 入力フィールドにユーザ名を入力します。
2. **[パスワード (Password)]** 入力フィールドにパスワードを入力します。
3. **[外部マネージャ (External Manager)]** 見出しの下にある **[ドメイン (Domain)]** 入力フィールドにドメイン名を入力します。

場合によっては、Expressway のアドレスを手動で入力する必要があります。**[外部マネージャ (External Manager)]** 見出しの下にある **[アドレス (Address)]** 入力フィールドに、注文時に受信したアドレスを入力します。

* DHCP サーバは、**[外部マネージャ (External Manager)]** のアドレスを自動的に入力するようにセットアップできます (TMS の場合はオプション 242、UCM の場合はオプション 150)。ここで入力する設定により、DHCP から提供される設定がオーバーライドされます。

IP の設定

(プロビジョニング システムによって設定されていない場合)

ビデオ会議システムは、IP バージョン 4 (IPv4)、IP バージョン 6 (IPv6)、およびデフォルト設定である [デュアル (Dual)] をサポートしています。3 つすべてのケースで、IP パラメータは、ネットワークによって自動的に割り当てられることも、すべて手動で設定することもできます。[デュアル (Dual)] に設定すると、ネットワーク インターフェイスは両方の IP バージョンで動作でき、IPv4 アドレスと IPv6 アドレスの両方を持つことができます。

パラメータを手動で設定する場合は、ネットワーク管理者に連絡して、必要なパラメータを入手してください。

[デュアル (Dual)] モード使用時に IP の設定を手動で設定する場合は、IPv4 と IPv6 の両方の設定を設定する必要があります。その場合は手順のステップ 2 から開始します。

システムが自動的にプロビジョニングされる場合、これらの IP の設定はプロビジョニング システムによってオーバーライドされることがあります。

IPv4 または IPv6 のアドレスがシステムにすでに割り当てられている場合は、[システム情報 (System Information)] ページで確認できます。[設定 (Configuration)] タブに移動し、[システム ステータス (System Status)] と [ネットワーク (Network)] を選択します。

注: Web インターフェイスまたはリモートでペアリングされているタッチ コントローラを使用して、手動で IP アドレスを変更しないでください。

値の設定を変更する場合は、必ず [保存 (save)] をクリックして、変更を確定する必要があります。

IPv4 の設定または変更手順

[設定 (Configuration)] タブに移動し、[システム設定 (System Configuration)] をクリックします。

1. IP バージョンの選択

左のサイドバーにある [ネットワーク (Network)] 設定をクリックします。[IP スタック (IP Stack)] ドロップダウンリストから [IPv4] を選択します。

2. IP 割り当ての自動または手動の選択

IP を自動で割り当てる場合は、[IPv4] セクションまでページをスクロールダウンし、[割り当て (Assignment)] ドロップダウンリストから [DHCP] を選択します。IP アドレスを手動で設定する場合は、[静的 (Static)] を選択します。

3. IP の割り当てを手動で設定する場合

[IPv4] セクションで、対応する入力フィールドに [アドレス (Address)]、[ゲートウェイ (Gateway)]、[サブネットマスク (Subnet Mask)] を入力します。

[DNS] セクションにスクロールアップし、[サーバ 1 アドレス (Server 1 Address)] 入力フィールドに DNS サーバのアドレスを入力します。

* IP 割り当て:

[DHCPv6]: すべての IPv6 アドレス (DNS および NTP サーバアドレスなどのオプションを含む) は、DHCPv6 サーバから自動的に取得されます。

[Autoconf]: システムおよびゲートウェイの IP アドレスが自動的に割り当てられます。オプション (NTP および DNS サーバアドレスなど) は、[DHCP オプション (DHCP Options)] の設定に従って設定するか、割り当てする必要があります。**

[静的 (Static)]: システムおよびゲートウェイの IP アドレスは手動で設定する必要があります。オプション (NTP および DNS サーバアドレスなど) は、[DHCP オプション (DHCP Options)] の設定に従って設定するか、割り当てする必要があります。**

IPv6 の設定または変更手順

[設定 (Configuration)] タブに移動し、[システム設定 (System Configuration)] をクリックします。

1. IP バージョンの選択

左のサイドバーにある [ネットワーク (Network)] 設定をクリックします。[IP スタック (IP Stack)] ドロップダウンリストから [IPv6] を選択します。

2. IP 割り当ての自動または手動の選択

[IPv6] セクションまでページをスクロールダウンし、ネットワークの要件に従い、[割り当て (Assignment)] ドロップダウンリストから [DHCPv6]、[Autoconf] または [静的 (Static)] を選択します。*

3. [IP 割り当て (IP Assignment)] が [静的 (Static)] の場合: IP アドレスの設定

[アドレス (Address)] 入力フィールドにシステムの IP アドレスを入力します。任意: [ゲートウェイ (Gateway)] 入力フィールドにゲートウェイ アドレスを入力します。

4. [IP 割り当て (IP Assignment)] が [静的 (Static)] または [Autoconf] の場合: [DHCP オプション (DHCP Options)] ネットワークの要件に従い、[DHCP オプション (DHCP Options)] ドロップダウンリストから [オン (On)] または [オフ (Off)] を選択します。**

5. [DHCP オプション (DHCP Options)] が [オフ (Off)] の場合: DNS と NTP の設定

[DNS] セクションにスクロールアップし、[サーバ 1 アドレス (Server 1 Address)] 入力フィールドに DNS サーバのアドレスを入力します。

左のサイドバーから [ネットワーク サービス (Network Services)] 設定を開き、[NTP] セクションまでスクロールダウンします。[アドレス (Address)] 入力フィールドに NTP サーバのアドレスを入力します。[モード (Mode)] を [自動 (Auto)] に設定します。

** [DHCP オプション (DHCP Options)]:

[オン (On)]: IP パラメータ (DNS および NTP サーバアドレスなど) は DHCPv6 サーバから自動的に取得されます。

[オフ (Off)]: IP パラメータ (DNS および NTP サーバアドレスなど) は手動で設定する必要があります。

H.323 および SIP の設定

(プロビジョニング システムによって設定されていない場合)

接続して発着信できる状態にするには、システムを適切に設定する必要があります。システムのビデオ コールでは、H.323 プロトコルまたは SIP プロトコルが使用されます。

システムの診断では、H.323 または SIP の登録に関する問題があるかどうかを示されます。

H.323 または SIP の他の設定を変更する場合は、お使いの製品の管理者ガイドを参照してください。

Cisco TMS (Cisco TelePresence Management Suite) を使用して管理しているネットワークの場合、Cisco TMS の管理者が接続作業を支援します。

Cisco UCM による管理の詳細については、『[Administering CE endpoints on CUCM](#)』ガイドを参照してください。

注: H.323 は SX10 では利用できません。

H.323

後述のパラメータについて不明な点がある場合は、システム管理者またはサービス プロバイダーにお問い合わせください。

1. [\[設定 \(Configuration\)\]](#) タブに移動し、[\[システム設定 \(System Configuration\)\]](#) を選択します。
2. 左のサイドバーから [\[H323\]](#) の設定を開きます。
3. [\[H323 エイリアス \(H323 Alias\)\]](#) の見出しの下で、それぞれの入力フィールドに [\[E164\]](#) および [\[ID\]](#) の番号を入力します。
4. 対応する入力フィールドに [\[ゲートキーパー アドレス \(Gatekeeper Address\)\]](#) を入力します。
5. H.323 ゲートキーパーの認証が必要で、システム自体にゲートキーパーを認証させる場合は、[\[認証 \(Authentication\)\]](#) 小見出しに移動し、[\[モード \(Mode\)\]](#) ドロップダウンリストで [\[オン \(On\)\]](#) を選択します。次に、対応する入力フィールドに [\[ログイン名 \(Login Name\)\]](#) と [\[パスワード \(Password\)\]](#) を入力します。あるいは、[\[モード \(Mode\)\]](#) ドロップダウンリストで [\[オフ \(Off\)\]](#) を選択します。

SIP

後述のパラメータについて不明な点がある場合は、システム管理者またはサービス プロバイダーにお問い合わせください。

1. [\[設定 \(Configuration\)\]](#) タブに移動し、[\[システム設定 \(System Configuration\)\]](#) を選択します。
2. 左のサイドバーから [\[SIP\]](#) の設定を開きます。
3. [\[URI\]](#) 入力フィールドに SIP URI を入力し、必要に応じて [\[表示名 \(Display Name\)\]](#) 入力フィールドに表示名を入力します。
4. [\[デフォルト トランスポート \(Default Transport\)\]](#) ドロップダウンリストから使用するトランスポート プロトコルを選択します。[\[自動 \(Auto\)\]](#) を選択すると、システムは TLS、TCP、UDP の順に使用して接続を試みます。
5. [\[タイプ \(Type\)\]](#) ドロップダウンリストでプロキシ タイプを選択します。デフォルトのタイプは [\[標準 \(Standard\)\]](#) です。CUCM に登録する場合は、[\[Cisco\]](#) を使用できます。
6. 対応する入力フィールドに [\[プロキシ 1 アドレス \(Proxy 1 Address\)\]](#) を入力します。
7. SIP プロキシの認証が必要な場合は、ログイン名とパスワードを入力して、システムを認証する必要があります。[\[認証 \(Authentication\)\]](#) 見出しに移動し、対応する入力フィールドに [\[ログイン名 \(Login Name\)\]](#) と [\[パスワード \(Password\)\]](#) を入力します。

値の設定を変更する場合は、必ず [\[保存 \(save\)\]](#) をクリックして、変更を確定する必要があります。

日時と場所

(プロビジョニング システムによって設定されていない場合)

ビデオ会議システムを設定する場合は、日付と時刻の設定が正しいことを確認することを推奨します。日付と時刻の情報は、ゲートキーパーやその他のネットワーク要素に送信されるタイムスタンプ メッセージなどに使用されます。

1. [\[設定 \(Configuration\)\]](#) タブに移動し、[\[システム設定 \(System Configuration\)\]](#) を選択します。
左の列から [\[時刻 \(Time\)\]](#) の設定を開きます。
2. [\[日付形式 \(Date Format\)\]](#) ドロップダウンリストから使用する日付形式を選択します。
3. [\[時刻形式 \(Time Format\)\]](#) ドロップダウンリストから使用する時刻形式を選択します。
4. [\[ゾーン \(Zone\)\]](#) ドロップダウンリストからタイム ゾーンを選択します。
5. 左のサイドバーから [\[ネットワーク サービス \(Network Services\)\]](#) の設定を開きます。
6. [\[NTP\]](#) セクションの下にある [\[モード \(Mode\)\]](#) ドロップダウンリストで、[\[自動 \(Auto\)\]](#)、[\[手動 \(Manual\)\]](#)、または [\[オフ \(Off\)\]](#) を選択します。*
 - a. [\[手動 \(Manual\)\]](#) を選択する場合は、[\[アドレス \(Address\)\]](#) 入力フィールドに NTP サーバアドレスを入力します。
 - b. [\[オフ \(Off\)\]](#) を選択する場合は、タッチ コントローラ ([\[設定 \(Settings\)\]](#)) > [\[管理者 \(Administrator\)\]](#) > [\[日時と場所 \(Date, Time & Location\)\]](#) またはコマンドライン インターフェイス (xCommand Time DateTime Set) を使用して、日時を手動で入力する必要があります。
7. 時刻の設定を確認する場合は、[\[設定 \(Configuration\)\]](#) に移動して、[\[システム ステータス \(System Status\)\]](#) をクリックします。左のサイドバーから [\[時刻 \(Time\)\]](#) ステータスを開きます。

値の設定を変更する場合は、

必ず [\[保存 \(save\)\]](#) をクリックして、変更を確定する必要があります。

* NTP モード :

[\[自動 \(Auto\)\]](#) : 時刻は NTP サーバを使用して定期的に更新されます。NTP サーバアドレスはネットワーク (DHCP) から自動的に取得されます。

[\[手動 \(Manual\)\]](#) : 時刻は NTP サーバを使用して定期的に更新されます。NTP サーバアドレスを手動で入力する必要があります。

[\[オフ \(Off\)\]](#) : 時刻を手動で設定する必要があります。時刻は自動更新されません。

パスワード

システムの Web インターフェイスやコマンドライン インターフェイスにサインインするためには、ユーザ名とパスワードが必要です。また、タッチ コントローラの管理者設定や詳細設定にアクセスするためには、システム パスワードが必要です。

ビデオ会議システムは、ユーザ名が **admin** で、パスワードが設定されていないデフォルトのユーザ アカウントで提供されません。このユーザにはシステムへのフル アクセス権があります。

注：最初は、デフォルトの **admin** ユーザのパスワードは設定されていません。システム設定へのアクセスを制限するために、管理者権限を持つユーザのパスワードを設定する必要があります。対象にはデフォルトの **admin** ユーザが含まれます。

パスワードを設定するまで、システム パスワードが設定されていないという警告が画面に表示されます。

パスワードのコピーを安全な場所に保管してください。パスワードを忘れた場合は、ユニットを工場出荷時設定にリセットする必要があります。

システム/コーデック パスワードの設定

注：システム設定へのアクセスを制限するために、**admin** ユーザにパスワードを設定することを強く推奨します。

1. 右上隅にあるユーザ名をクリックし、[\[パスワードの変更 \(Change passphrase\)\]](#) を選択します。
2. [\[現在のパスワード \(Current passphrase\)\]](#) と [\[新しいパスワード \(New passphrase\)\]](#) に入力し、対応する入力フィールドに新しいパスワードを再度入力します。
パスワードの形式は、0 ~ 64 文字の文字列です。
パスワードがまだ設定されていない場合は、ブランクの [\[現在のパスワード \(Current passphrase\)\]](#) を使用します。
3. [\[パスワードの変更 \(Change passphrase\)\]](#) をクリックします。

第 4 章 設定： 画面上のセットアップ アシスタント

リモート コントロール 使用時の画面上のセットアップ アシスタント

システムの初回起動時には、セットアップ アシスタントが自動的に起動します。

システムが自動的にプロビジョニングされる場合、IP およびプロビジョニングの設定は自動的に設定されます。

画面上のセットアップ アシスタントは、リモート コントロール使用時に SX10 および SX20 で使用できます。

セットアップ アシスタントの起動

ホーム画面の左上隅に移動し、リモート コントロールの **OK** を押します。

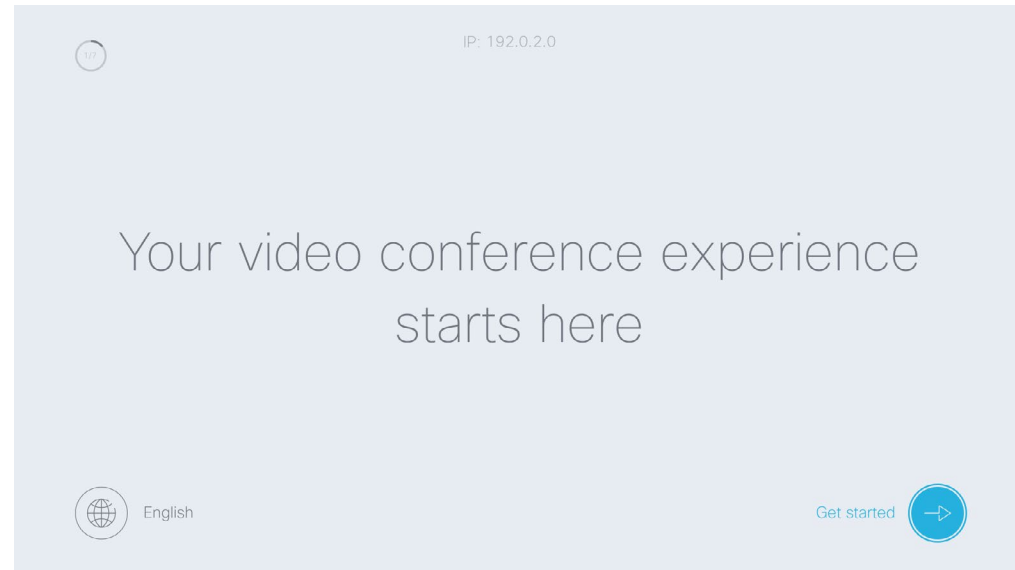
[システム情報 (System Information)] に移動し、**OK** を押します。[詳細設定 (Advanced Settings)] に移動し、**OK** を押します。画面に表示される指示に従います。

画面にメニューが表示されない場合：

- ・ モニタが接続されていて、スイッチがオンになっていることを確認します。
- ・ モニタで正しい入力を選択されていることを確認します。
- ・ リモート コントロールにバッテリーが取り付けられていることを確認します。
- ・ システムのスイッチがオンになっていることを確認します。

システムのスイッチをオンにしたばかりの場合は、システムが起動するまで数分待ちます。

まだ画面にメニューが表示されない場合は、モニタ ケーブルがビデオ出力コネクタに接続されていることを確認します。不明な点がある場合は、お使いの製品のインストール ガイドを参照してください。



IP の設定

(プロビジョニング システムによって設定されていない場合)

IP パラメータは、ネットワークによって自動的に割り当てられることも、すべて手動で設定することもできます。システムが自動的にプロビジョニングされる場合、手動による IP の設定がプロビジョニング システムによってオーバーライドされることがあります。

パラメータを手動で設定する場合は、ネットワーク管理者に連絡して、必要なパラメータを入手してください。

IPv4 アドレスがすでにシステムに割り当てられている場合は、[\[システム情報 \(System Information\)\]](#) の下で確認できます。左上隅にあるユーザ名に移動して、[\[システム情報 \(System Information\)\]](#) を選択します。

IP の設定をデフォルトのデュアル スタック設定から IPv4 または IPv6 に変更する場合は、Web インターフェイスで変更できます。

注： SX10 または SX20 の初回起動時には、セットアップ アシスタントが自動的に起動します。IP の設定がネットワークによってすでに設定されている場合、セットアップ ウィザードは IP の設定をスキップします。

1. 詳細設定 (Advanced Settings)

左上隅にあるユーザ名に移動して、[\[システム情報 \(System Information\)\]](#) を選択します。[\[詳細設定 \(Advanced Settings\)\]](#) を選択します。[\[ネットワーク接続 \(Network Connection\)\]](#) に移動し、[\[ネットワーク設定 \(Network Settings\)\]](#) を選択します。

2. 手動の IP 割り当て

IP アドレスを手動で設定する場合は、[\[自動ネットワーク設定 \(Automatic network configuration\)\]](#) チェックボックスをオフにします。

3. IP アドレスの設定

[\[IP アドレス \(IP Address\)\]](#)、[\[サブネット マスク \(Subnet Mask\)\]](#)、および [\[ゲートウェイ \(Gateway\)\]](#) アドレスを入力します。入力フィールドを選択するとソフト キーボードが表示されます。[\[OK\]](#) を選択して変更を確定します。

4. [\[適用 \(Apply\)\]](#) を選択して、変更内容を保存します。

プロビジョニング

(プロビジョニング システムを使用する場合)

システムが自動的にプロビジョニングされる場合、IP およびプロビジョニングの設定は自動的に設定され、セットアップ アシスタントはこれらの段階をスキップします。

詳細設定 (Advanced Settings)

左上隅にあるユーザ名に移動して、[\[システム情報 \(System Information\)\]](#) を選択します。[\[詳細設定 \(Advanced Settings\)\]](#) を選択します。[\[システム アクティベーション \(System Activation\)\]](#) に移動し、[\[アクティベーション設定 \(Activation Settings\)\]](#) を選択します。

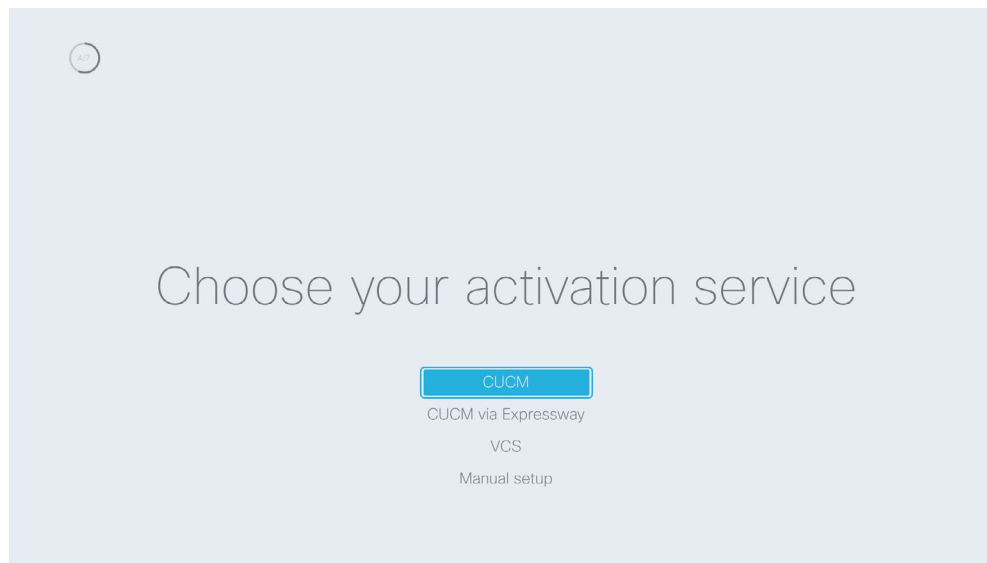
注： SX10 の初回起動時には、セットアップ アシスタントが自動的に起動します。

プロビジョニング インフラストラクチャの選択

次のサポートされているプロビジョニング システムのいずれかを選択します。

- CUCM (Cisco Unified Communications Manager)
- Expressway 経由の CUCM
- VCS (Video Communication Server)

手動での設定を選択する場合、システムを Web インターフェイスに登録する必要があります。



Cisco Unified Communications Manager

CUCM の管理者に連絡して、必要な情報を入手します。

[[ホスト サーバアドレス \(Host server address\)](#)] フィールドに IP アドレスまたは DNS 名を入力し、[OK] を選択して変更を確定します*。

CUCM のプロビジョニングの設定の詳細については、『[Administering CE endpoints on CUCM](#)』ガイドを参照してください。

注：SX10 が登録されていることを確認するには、[[設定 \(Settings\)](#)] メニューに移動し、左上隅にあるユーザ名に移動して、[[詳細設定 \(Advanced Settings\)](#)] を選択します。

Expressway 経由の CUCM

CUCM の管理者に連絡して、必要な情報を入手します。

対応する入力フィールドに [[ユーザ名 \(Username\)](#)]、[[パスワード \(Passphrase\)](#)]、および [[ドメイン \(Domain\)](#)] を入力します。必ず [OK] を選択して変更を確定します。[[適用 \(Apply\)](#)] を選択して保存します。

場合によっては、Expressway のアドレスを手動で入力する必要があります。[[Expressway のアドレスを手動でオーバーライド \(Manually override Expressway address\)](#)] を選択し、注文時に受信したアドレスを [[ホスト サーバアドレス \(Host Server Address\)](#)] フィールドに入力します。

注：SX10 が登録されていることを確認するには、[[設定 \(Settings\)](#)] メニューに移動し、左上隅にあるユーザ名に移動して、[[詳細設定 \(Advanced Settings\)](#)] を選択します。

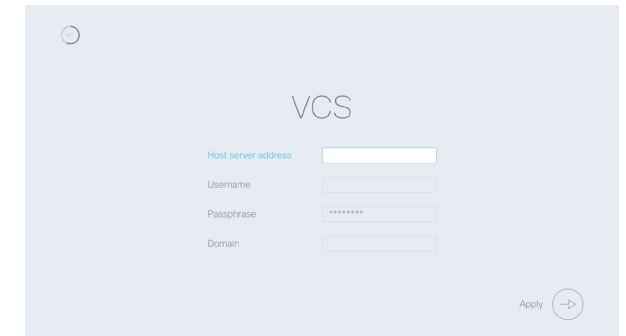
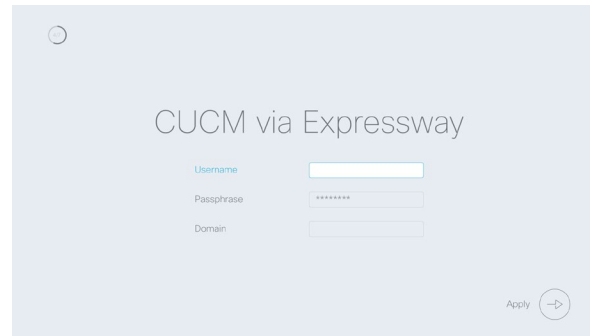
VCS

VCS プロバイダーに連絡して、必要な情報を入手します。

1. [[ホスト サーバアドレス \(Host server address\)](#)] に Cisco VCS の IP アドレスまたは DNS 名を入力し、[OK] を選択して変更を確定します。
2. ビデオ システムをプロビジョニング サーバで認証するために必要な場合は、[[ユーザ名 \(Username\)](#)] と [[パスワード \(Passphrase\)](#)] を入力します。[OK] を選択して変更を確定します。
3. SIP [[ドメイン \(Domain\)](#)] を入力し、[OK] を選択して変更を確定します。
4. [[適用 \(Apply\)](#)] を選択して、変更内容を保存します。

注：SX10 が登録されていることを確認するには、[[設定 \(Settings\)](#)] メニューに移動し、左上隅にあるユーザ名に移動して、[[詳細設定 \(Advanced Settings\)](#)] を選択します。

VCS のプロビジョニングの詳細については、付録の「[Cisco VCS プロビジョニング](#)」を参照してください。



* DHCP サーバは、ホスト サーバアドレスを自動的に入力するようにセットアップできます (DHCP オプション 150)。ここで入力する設定により、DHCP から提供される設定がオーバーライドされます。

第 4 章 設定： タッチ コントローラ

タッチ コントローラ

システムの起動

タッチコントローラにメニューが表示されない場合は、画面をタップしてシステムを起動します。

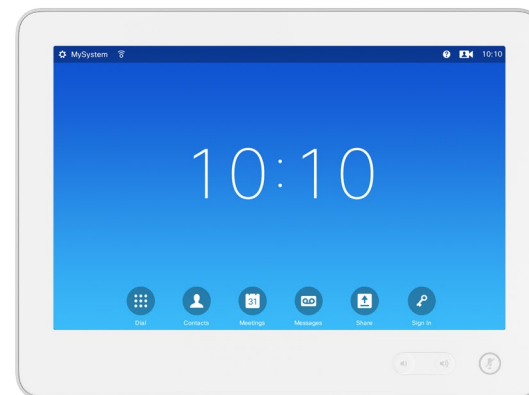
システムが起動しない場合

- ・ タッチ コントローラがメイン ユニットに接続されていることを確認します。
- ・ メイン ユニットが電源に接続されていて、スイッチがオンになっていることを確認します。

システムのスイッチをオンにしたばかりの場合は、システムが起動するまで数分待ちます。

詳細な手順については、お使いの製品のインストール ガイドおよび管理者ガイドを参照してください。

タッチ コントローラの機能と使用方法の概要については、
▶ [タッチ コントローラの使用方法](#)を参照してください。



プロビジョニングの設定

(プロビジョニング システムを使用する場合)

プロビジョニング ウィザードの起動

左上隅にあるユーザ名をタップして、**[設定 (Settings)]** をタップします。**[管理者 (Administrator)]** > **[プロビジョニング (Provisioning)]** をタップして、**[起動 (Start)]** をタップします。

注: タッチ コントローラを使用してシステムを初めて起動すると、プロビジョニング ウィザードが自動的に起動します。

プロビジョニング インフラストラクチャの選択

次のサポートされているプロビジョニング システムのいずれかを選択します。

- Cisco UCM (Unified Communications Manager)
- Expressway 経由の Cisco UCM
- Cisco VCS (Video Communication Server)

[次へ (Next)] をタップして続行します。

Configure Your TelePresence Unit

Select infrastructure:

- Cisco VCS
- Cisco UCM
- Cisco UCM via Expressway

Cancel Next

必須パラメータの入力

選択したプロビジョニング インフラストラクチャの必須パラメータを入力します。次に、**[登録 (Register)]** をタップして、手順を完了します。

Cisco UCM

UCM プロバイダーに連絡して、Cisco UCM (**[外部マネージャ (External Manager)]**) の IP アドレスまたは DNS 名を入手します。*

Configure Your TelePresence Unit

Infrastructure Cisco UCM

External Manager

Delete old certificate files (CTL, ITL)

Cancel Register

Cisco UCM のプロビジョニングの設定の詳細については、『[Administering TC endpoints on CUCM](#)』ガイドを参照してください。

Expressway 経由の Cisco UCM

このサービスの注文時に、**[ユーザ名 (Username)]**、**[ドメイン (Domain)]**、および**[パスワード (Passphrase)]**を受信しています。対応する入力フィールドにそれらの情報を入力します。

Configure Your TelePresence Unit

Infrastructure Cisco UCM via Expressway

Username

Domain

Passphrase

Delete old certificate files (CTL, ITL)

Manually override Expressway address

Cancel Register

場合によっては、Expressway のアドレスを手動で入力する必要があります。**[Expressway のアドレスを手動でオーバーライド (Manually override Expressway address)]** を選択し、注文時に受信したアドレスを**[外部マネージャ (External Manager)]** フィールドに入力します。

Cisco VCS

VCS プロバイダーに連絡して、Cisco VCS (**[外部マネージャ (External Manager)]**) の IP アドレスまたは DNS 名、および SIP **[ドメイン (Domain)]** を入手します。*

ビデオ システムをプロビジョニング サーバで認証するために必要な場合は、**[ユーザ名 (Username)]** と **[パスワード (Passphrase)]** を設定します。

Configure Your TelePresence Unit

Infrastructure Cisco VCS

Username

Passphrase

Domain

External Manager

Cancel Register

VCS のプロビジョニングの詳細については、付録の「[Cisco VCS プロビジョニング](#)」を参照してください。

* DHCP サーバは、[外部マネージャ (External Manager)] のアドレスを自動的に入力するようにセットアップできます (DHCP オプション 150)。ここで入力する設定により、DHCP から提供される設定がオーバーライドされます。

IP の設定

(プロビジョニング システムによって設定されていない場合)

タッチ コントローラでは、着信コールの IP の設定を選択できます。IP の設定をデフォルトのデュアル スタック設定から IPv4 または IPv6 に変更する場合は、Web インターフェイスで変更できます。

システムの IP 設定は、デフォルトでデュアル スタックに設定されます。つまり、ネットワーク インターフェイスは両方の IP バージョンで動作でき、IPv4 アドレスと IPv6 アドレスを両方同時に持つことができます。

IP パラメータは、ネットワークによって自動的に割り当てられることも、すべて手動で設定することもできます。パラメータを手動で設定する場合は、ネットワーク管理者に連絡して、必要なパラメータを入手してください。

システムが自動的にプロビジョニングされる場合、これらの IP の設定はプロビジョニング システムによってオーバーライドされることがあります。

IP の設定をデフォルトに戻すには、左上隅にあるユーザ名をタップし、**[設定 (Settings)]** > **[管理者 (Administrator)]** > **[IP と VLAN (IP & VLAN)]** をタップして、**[デフォルト (Default)]** をタップします。

IPv4 または IPv6 アドレスがすでにシステムに割り当てられている場合は、**[システム情報 (System Information)]** ページの **[ネットワーク (NETWORK)]** セクションで確認できます。左上隅にあるユーザ名をタップし、**[設定 (Settings)]** > **[システム情報 (System Information)]** をタップします。

IPv4 の設定または変更

1. IP バージョンの選択

左上隅にあるユーザ名をタップし、**[設定 (Settings)]** > **[管理者 (Administrator)]** > **[IP と VLAN : コーデック (IP & VLAN - Codec)]** をタップします。次に、**[詳細 (Advanced)]** をタップします。[IPv4] チェックボックスをオンにします (オンになっていない場合)。

2. IP 割り当ての自動または手動の選択

[IPv4] の横にある矢印 (▼) をタップします。IP を自動で割り当ての場合は、**[IP 割り当て (IP Assignment)]** セクションで [DHCP] をタップします。IP アドレスを手動で設定する場合は、[静的 (Static)] をタップします。

3. [IP 割り当て (IP Assignment)] が [静的 (Static)] の場合 : IP アドレスの設定

[IP アドレス (IP Address)]、**[サブネット マスク (Subnet Mask)]**、**[ゲートウェイ (Gateway)]**、および **[DNS サーバ (DNS Server)]** アドレスを入力します。入力フィールドをタップするとソフト キーボードが表示されます。

4. 設定の保存

変更内容を確定する場合は **[保存 (Save)]** をタップし、保存しない場合は **[元に戻す (Undo)]** をタップします。

5. メイン メニューに戻る

[終了 (Exit)] をタップして、[ホーム (Home)] メニューに戻ります。

* IP 割り当て :

[DHCP] : すべての IPv6 アドレス (DNS および NTP サーバアドレスなどのオプションを含む) は、DHCPv6 サーバから自動的に取得されます。

[自動 (Auto)] : システムおよびゲートウェイの IP アドレスが自動的に割り当てられます。オプション (NTP および DNS サーバアドレスなど) は、[DHCP オプション (DHCP Options)] の設定に従って設定するか、割り当てする必要があります。**

[静的 (Static)] : システムおよびゲートウェイの IP アドレスは手動で設定する必要があります。オプション (NTP および DNS サーバアドレスなど) は、[DHCP オプション (DHCP Options)] の設定に従って設定するか、割り当てする必要があります。**

IPv6 の設定または変更

1. IP バージョンの選択

左上隅にあるユーザ名をタップし、**[設定 (Settings)]** > **[管理者 (Administrator)]** > **[IP と VLAN : コーデック (IP & VLAN - Codec)]** をタップします。次に、**[詳細 (Advanced)]** をタップします。[IPv6] チェックボックスをオンにします (オンになっていない場合)。

2. IP 割り当ての自動または手動の選択

[IPv6] の横にある矢印 (▼) をタップします。ネットワークの要件に従い、**[IP 割り当て (IP Assignment)]** セクションで、[DHCP]、[自動 (Auto)]、または [オフ (Off)] を選択します。*

3. [IP 割り当て (IP Assignment)] が [静的 (Static)] の場合 : IP アドレスの設定

[IP アドレス (IP Address)] と **[ゲートウェイ (Gateway)]** を入力します。入力フィールドをタップするとソフト キーボードが表示されます。

4. [IP 割り当て (IP Assignment)] が [静的 (Static)] または [自動 (Auto)] の場合 : [DHCP オプション (DHCP Options)] の設定

ネットワークの要件に従い、**[DHCP オプション (DHCP Options)]** セクションで、[オン (On)] または [オフ (Off)] を選択します。**

[DHCP オプション (DHCP Options)] が [オフ (Off)] に切り替わった場合は、Web インターフェイスで DNS および NTP サーバアドレスを設定する必要があります (「Configure DNS and NTP」、15 ページを参照)。

5. 設定の保存

変更内容を確定する場合は **[保存 (Save)]** をタップし、保存しない場合は **[元に戻す (Undo)]** をタップします。

6. メイン メニューに戻る

[終了 (Exit)] をタップして、[ホーム (Home)] メニューに戻ります。

** [DHCP オプション (DHCP Options)] :

[オン (On)] : IP パラメータ (DNS および NTP サーバアドレスなど) は DHCPv6 サーバから自動的に取得されます。

[オフ (Off)] : IP パラメータ (DNS および NTP サーバアドレスなど) は手動で設定する必要があります。

H.323 および SIP の設定

(プロビジョニング システムによって設定されていない場合)

接続して発信できる状態にするには、システムを適切に設定する必要があります。システムのビデオ コールでは、H.323 プロトコルまたは SIP プロトコルが使用されます。

注： ネットワーク設定の詳細については、システム管理者またはサービス プロバイダーにお問い合わせください。

Cisco TMS (TelePresence Management Suite) を使用して管理しているネットワークの場合、Cisco TMS の管理者が接続作業を支援します。

Cisco UCM による管理の詳細については、『▶ [Administering TC endpoints on CUCM](#)』ガイドを参照してください。

H.323

後述のパラメータについて不明な点がある場合は、システム管理者またはサービス プロバイダーにお問い合わせください。

1. 左上隅にあるユーザ名をタップして、[\[設定 \(Settings\)\]](#) > [\[管理者 \(Administrator\)\]](#) > [\[H323\]](#) をタップします。
2. それぞれの入力フィールドに [\[H323 番号 \(H323 Number\)\]](#) および [\[H323 ID \(H323 Id\)\]](#) を入力します。
3. 対応する入力フィールドに [\[ゲートキーパー アドレス \(Gatekeeper Address\)\]](#) を入力します。
4. H.323 ゲートキーパーの認証が必要で、システム自体にゲートキーパーを認証させる場合は、[\[認証モード \(Authentication Mode\)\]](#) セクションで [\[ON\]](#) をタップし、それぞれの入力フィールドに [\[ログイン名 \(Login Name\)\]](#) と [\[パスワード \(Password\)\]](#) を入力します。認証しない場合は、[\[オフ \(OFF\)\]](#) をタップします。
5. 変更内容を確定する場合は [\[保存 \(Save\)\]](#) をタップし、保存しない場合は [\[元に戻す \(Undo\)\]](#) をタップします。
6. [システム情報 (System Information)] ページで [H323] の設定を確認します。
ゲートキーパーが正常に登録されている場合、[H323] セクションの [\[ステータス \(Status\)\]](#) が [\[登録済み \(Registered\)\]](#) と表示されます。
7. [\[終了 \(Exit\)\]](#) をタップして、[ホーム (Home)] メニューに戻ります。

SIP

後述のパラメータについて不明な点がある場合は、システム管理者またはサービス プロバイダーにお問い合わせください。

1. 左上隅にあるユーザ名をタップして、[\[設定 \(Settings\)\]](#) > [\[管理者 \(Administrator\)\]](#) > [\[SIP\]](#) をタップします。
2. [\[URI\]](#) 入力フィールドに SIP URI を入力します。
3. [\[デフォルト トランスポート \(Default Transport\)\]](#) セクションで使用するトランスポート プロトコルをタップします。[\[自動 \(Auto\)\]](#) を選択すると、システムは TLS、TCP、UDP の順に使用して接続を試みます。
4. - または + 記号をタップして、[\[プロキシ タイプ \(Proxy Type\)\]](#) を選択します。デフォルトのタイプは [\[標準 \(Standard\)\]](#) です。CUCM に登録する場合は、[\[Cisco\]](#) を使用できます。
5. 対応する入力フィールドに [\[プロキシ アドレス \(Proxy Address\)\]](#) を入力します。
6. SIP プロキシ サーバの認証が必要な場合は、それぞれの入力フィールドに [\[ログイン名 \(Login Name\)\]](#) と [\[パスワード \(Password\)\]](#) を入力してシステムを認証する必要があります。
7. 変更内容を確定する場合は [\[保存 \(Save\)\]](#) をタップし、保存しない場合は [\[元に戻す \(Undo\)\]](#) をタップします。
8. [システム情報 (System Information)] ページで [SIP] の設定を確認します。
SIP サーバに正常に登録されている場合、[SIP] セクションの [\[ステータス \(Status\)\]](#) が [\[登録済み \(Registered\)\]](#) と表示されます。
9. [\[終了 \(Exit\)\]](#) をタップして、[ホーム (Home)] メニューに戻ります。

日時と場所

(プロビジョニング システムによって設定されていない場合)

ビデオ会議システムを設定する場合は、日付と時刻の設定が正しいことを確認することを推奨します。日付と時刻の情報は、ゲートキーパーやその他のネットワーク要素に送信されるタイムスタンプメッセージなどに使用されます。

時刻は、タッチ コントローラのディスプレイの右上隅で確認できます。

1. 左上隅にあるユーザ名をタップして、[\[設定 \(Settings\)\]](#) > [\[管理者 \(Administrator\)\]](#) > [\[日時と場所 \(Date, Time & Location\)\]](#) をタップします。
2. [\[24h\]](#) または [\[12h\]](#) をタップして、使用する [\[時刻形式 \(Time Format\)\]](#) を選択します。
3. [\[dd.mm.yy\]](#)、[\[mm.dd.yy\]](#)、または [\[yy.mm.dd\]](#) をタップして、使用する [\[日付形式 \(Date Format\)\]](#) を選択します。
4. システムの [\[タイムゾーンエリア \(Time Zone Area\)\]](#) と [\[タイムゾーンの場所 \(Time Zone Location\)\]](#) を選択します。- または + 記号をタップして、利用可能なゾーンのリストを順番に確認します。
5. 日時を定期的に更新する場合は、[\[日時モード \(Date & Time Mode\)\]](#) を [\[自動 \(Auto\)\]](#) に設定します。それ以外は、[\[手動 \(Manual\)\]](#) を選択します。
 - a. [\[手動 \(Manual\)\]](#) を選択した場合は、[\[時間 \(Hour\)\]](#)、[\[分 \(Minute\)\]](#)、[\[年 \(Year\)\]](#)、[\[月 \(Month\)\]](#)、および [\[日 \(Day\)\]](#) に正しい値を入力します。- および + 記号をタップして、値を増減させます。
 - b. [\[自動 \(Auto\)\]](#) を選択すると、NTP サーバアドレスをネットワークから自動的に取得する ([\[NTP モード \(NTP Mode\)\]](#) を [\[自動 \(Auto\)\]](#) に設定) か、または [\[NTP サーバ \(NTP Server\)\]](#) アドレスを自分で入力する ([\[NTP モード \(NTP Mode\)\]](#) を [\[手動 \(Manual\)\]](#) に設定) ことができます。
6. 変更内容を確定する場合は [\[保存 \(Save\)\]](#) をタップし、保存しない場合は [\[元に戻す \(Undo\)\]](#) をタップします。
7. [\[終了 \(Exit\)\]](#) をタップして、[ホーム (Home)] メニューに戻ります。

付録

Cisco VCS プロビジョニング

Cisco VCS (Video Communication Server) プロビジョニングを使用する場合、プロビジョニング可能なすべての設定が含まれているテンプレートを Cisco TMS (TelePresence Management System) にアップロードする必要があります。これは *Cisco TMS* プロビジョニング設定テンプレートと呼ばれます。

このテンプレートには、ビデオ システムの詳細設定がすべて含まれています。[システムユニット名 (*SystemUnit Name*)]と [SIPプロファイル[1..1]URI (*SIP Profile [1..1] URI*)]を除くすべての設定をビデオ システムに自動的にプロビジョニングできます。

詳細設定については、お使いのビデオ システムの管理者ガイドを参照してください。

Cisco TMS へのファイルのアップロード方法や、プロビジョニングするパラメータに目的の値を設定する方法については、『Cisco TMS Provisioning Deployment Guide』を参照してください。Cisco TMS で設定されない場合は、デフォルト値が使用されます。URL : <http://www.cisco.com/c/en/us/support/conferencing/telepresence-management-suite-tms/products-installation-and-configuration-guides-list.html> [英語]

プロビジョニング設定テンプレートのダウンロード

次の URL からテンプレートをダウンロードできます。

MX シリーズ : [▶ MX シリーズ リリース ノート](#)

SX シリーズ : [▶ SX シリーズ リリース ノート](#)

各ソフトウェア リリースには、ビデオ システム モデルごとに 1 つのプロビジョニング設定テンプレートが用意されています。正しいファイルをダウンロードしてください。

シスコ Web サイト内のユーザ ドキュメンテーション

Cisco TelePresence 製品のユーザ ドキュメンテーションは、次の URL から入手できます。▶ <http://www.cisco.com/go/telepresence/docs> [英語]

正しい製品が見つかるまで、右ペイン内の製品カテゴリを選択します。以下の順にパスをたどってください。

[[コラボレーション ルーム エンドポイント \(Collaboration Room Endpoints\)](#)] >

[Cisco TelePresence MX シリーズ](#)

[TelePresence 統合ソリューション](#) >

[Cisco TelePresence SX シリーズ](#)

または、次の短いリンクを使用してマニュアルを検索してください。

▶ <http://www.cisco.com/go/mx-docs>

▶ <http://www.cisco.com/go/sx-docs>

ドキュメントは、次のカテゴリに編成されます。

インストールとアップグレード > インストールとアップグレード ガイド

- ・ [インストール ショートカット](#) : 製品のインストール方法
- ・ [スタートアップ ガイド](#) : システムを稼働させるために必要な初期設定
- ・ [RCSI ガイド](#) : 法規制の遵守および安全に関する情報

保守と運用 > メンテナンスとオペレーション ガイド

- ・ [スタートアップ ガイド](#) : システムを稼働させるために必要な初期設定
- ・ [管理者ガイド](#) : 製品の管理に必要な情報
- ・ [CUCM での CE エンドポイントの管理](#) : Cisco Unified Communications Manager (CUCM) とともに製品を使用し始めるために実行するタスク

保守と運用 > エンドユーザ ガイド

- ・ [ユーザ ガイド](#) : 製品の使用方法
- ・ [クイック リファレンス ガイド](#) : 製品の使用方法
- ・ [物理インターフェイス ガイド](#) : コネクタのパネルと LED など製品の物理インターフェイスに関する詳細。

リファレンス ガイド | コマンド リファレンス

- ・ [API リファレンス ガイド](#) : アプリケーション プログラミング インターフェイス (API) のリファレンス ガイド

リファレンス ガイド > テクニカル リファレンス

- ・ [CAD 図面](#) : 寸法付きの 2 次元 CAD 図面

設計 > 設計ガイド

- ・ [ビデオ会議室のガイドライン](#) : 会議室の設計とベスト プラクティスに関する一般的なガイドライン
- ・ [ビデオ会議室のガイドライン](#) : 聴き取られる音声の品質を向上させるために行うべきこと

ソフトウェア ダウンロード、リリースと一般情報 > ライセンス情報

- ・ [オープン ソースのドキュメント](#) : この製品で使用されているオープン ソース ソフトウェアのライセンスおよび通知

ソフトウェア ダウンロード、リリースと一般情報 > リリースノート

- ・ [ソフトウェア リリース ノート](#)

Intellectual property rights

このマニュアルに記載されている仕様および製品に関する情報は、予告なしに変更されることがあります。このマニュアルに記載されている表現、情報、および推奨事項は、すべて正確であると考えていますが、明示的であれ黙示的であれ、一切の保証の責任を負わないものとします。このマニュアルに記載されている製品の使用は、すべてユーザー側の責任になります。

対象製品のソフトウェア ライセンスおよび限定保証は、製品に添付された『Information Packet』に記載されています。添付されていない場合には、代理店にご連絡ください。

シスコが導入する CEP ヘッダー圧縮は、カリフォルニア大学バークレー校 (UCB) により、UNIX オペレーティングシステムの UCB パブリック ドメインバージョンの一部として開発されたプログラムを適応したものです。All rights reserved.Copyright © 1981, Regents of the University of California.

ここに記載されている他のいかなる保証にもよらず、各社のすべてのマニュアルおよびソフトウェアは、障害も含めて「現状のまま」として提供されます。シスコおよびこれら各社は、商品性の保証、特定目的への準拠の保証、および権利を侵害しないことに関する保証、あるいは取引過程、使用、取引慣行によって発生する保証をはじめとする、明示されたまたは黙示された一切の保証の責任を負わないものとします。

いかなる場合においても、シスコおよびその供給者は、このマニュアルの使用または使用できないことによって発生する利益の損失やデータの損傷をはじめとする、間接的、派生的、偶発的、あるいは特殊な損害について、あらゆる可能性がシスコまたはその供給者に知らされていても、それらに対する責任を一切負わないものとします。

このマニュアルで使用している IP アドレスおよび電話番号は、実際のアドレスおよび電話番号を示すものではありません。マニュアル内の例、コマンド出力、ネットワーク トポロジ図、およびその他の図は、説明のみを目的として使用されています。説明の中に実際のアドレスおよび電話番号が使用されていたとしても、それは意図的なものではなく、偶然の一致によるものです。

ハード コピーおよびソフト コピーの複製は公式版とみなされません。最新版はオンライン版を参照してください。

シスコは世界各国 200 箇所にオフィスを開設しています。各オフィスの住所、電話番号、FAX 番号は当社の Web サイト (www.cisco.com/go/offices) をご覧ください。

Cisco and the Cisco logo are trademarks or registered trademarks of Cisco and/or its affiliates in the U.S. and other countries. To view a list of Cisco trademarks, go to this URL: www.cisco.com/go/trademarks. Third-party trademarks mentioned are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (1110R)

シスコのお問い合わせ先

シスコの Web サイトでは、シスコの世界各地のお問い合わせ先を確認できます。

URL : [▶ http://www.cisco.com/web/siteassets/contacts](http://www.cisco.com/web/siteassets/contacts)

Corporate Headquarters:

Cisco Systems, Inc.

170 West Tasman Dr.

San Jose, CA 95134 USA